【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【公開番号】特開2007-7483(P2007-7483A)
【公開日】平成19年1月18日(2007.1.18)
【年通号数】公開・登録公報2007-002
【出願番号】特願2006-288419(P2006-288419)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３０８Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成20年3月21日(2008.3.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
遊技玉を遊技領域に発射する玉発射駆動手段と、遊技の進行を制御する遊技制御手段と、前記玉発射駆動手段を制御する発射制御手段とを含む遊技機において、
クロック生成手段が出力するクロック信号をクロック入力端子に入力し前記玉発射駆動手段を駆動するためのパルス信号を発生するＤ型フリップフロップを有する発射パルス発生手段を備え、
前記発射制御手段は、発射の可否を示す信号を前記発射パルス発生手段に出力することにより、遊技者の遊技玉発射操作を検知したことにもとづいて前記パルス信号を発生可能とすることで玉発射を可能にするとともに前記遊技玉発射操作を検知しないことにもとづいて前記パルス信号を発生不能とすることで玉発射を不能にする玉発射可能化手段と、発射制御信号を入力して該発射制御信号にもとづいて前記発射の可否を示す信号を前記発射パルス発生手段に出力することにより、前記パルス信号の発生の可否を制御することで発射可否状態を制御する発射可否状態制御手段とを含み、
前記発射可否状態制御手段は、入力した発射制御信号が発射不可状態を示すものであった場合には前記玉発射可能化手段が遊技玉発射操作を検知しない状態と同じ状態にすることにより、前記パルス信号を発生不能とすることで玉発射を不能化し、
前記発射の可否を示す信号は、前記Ｄ型フリップフロップのクリア端子に入力される
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明による遊技機は、遊技玉を遊技領域に発射する玉発射駆動手段と、遊技の進行を制御する遊技制御手段と、玉発射駆動手段を制御する発射制御手段とを含む遊技機において、クロック生成手段が出力するクロック信号をクロック入力端子に入力し玉発射駆動手段を駆動するためのパルス信号を発生するＤ型フリップフロップを有する発射パルス発生手段を備え、発射制御手段は、発射の可否を示す信号を発射パルス発生手段に出力することにより、遊技者の遊技玉発射操作を検知したことにもとづいてパルス信号を発生可能と

することで玉発射を可能にするとともに遊技玉発射操作を検知しないことにもとづいてパルス信号を発生不能とすることで玉発射を不能にする玉発射可能化手段と、発射制御信号を入力して発射制御信号にもとづいて発射の可否を示す信号を発射パルス発生手段に出力することにより、パルス信号の発生の可否を制御することで発射可否状態を制御する発射可否状態制御手段とを含み、発射可否状態制御手段は、入力した発射制御信号が発射不可状態を示すものであった場合には玉発射可能化手段が遊技玉発射操作を検知しない状態と同じ状態にすることにより、パルス信号を発生不能とすることで玉発射を不能化し、発射の可否を示す信号は、Ｄ型フリップフロップのクリア端子に入力されるように構成される。

ここで、玉発射可能化手段は、玉発射を可能とする条件の少なくとも一部として遊技者が遊技玉発射操作部に触れていることを検出する触手検出手段を含み、発射可否状態制御手段は、玉発射可能化手段を、遊技者が遊技玉発射操作部に触れていないことを触手検出手段が検出した場合と同じ状態にすることにより玉発射を不能化するように構成されていてもよい。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】

本発明によれば、遊技機を、発射制御手段が、発射の可否を示す信号を発射パルス発生手段に出力することにより、遊技者の遊技玉発射操作を検知したことにもとづいてパルス信号を発生可能とすることで玉発射を可能にするとともに遊技玉発射操作を検知しないことにもとづいてパルス信号を発生不能とすることで玉発射を不能にする玉発射可能化手段と、発射制御信号を入力して発射制御信号にもとづいて発射の可否を示す信号を発射パルス発生手段に出力することにより、パルス信号の発生の可否を制御することで発射可否状態を制御する発射可否状態制御手段とを含み、発射可否状態制御手段が、入力した発射制御信号が発射不可状態を示すものであった場合には玉発射可能化手段が遊技玉発射操作を検知しない状態と同じ状態にすることにより、パルス信号を発生不能とすることで玉発射を不能化し、発射の可否を示す信号は、Ｄ型フリップフロップのクリア端子に入力されるように構成したので、遊技玉発射制御のための構成をより低コストにして、遊技機のコストを下げることができる効果がある。